JMA マネジメントスクール

改　訂

お金に強い技術者であるために
技術者のための原価計算

～ あなたの技術は利益に結び付くか ～

開催日時
2026年　9月14日(月)～15日(火)　東京会場
2027年　3月　9日(火)～10日(水)　東京会場
各回とも2日間　10：00～17：00

対　象
- 製造部門、生産技術部門、生産管理・工場管理部門、開発・設計部門のスタッフ
- 原価計算について学びたい方

講　師
大塚 泰雄 氏
JMA専任講師
㈱MEマネジメントサービス
専務取締役

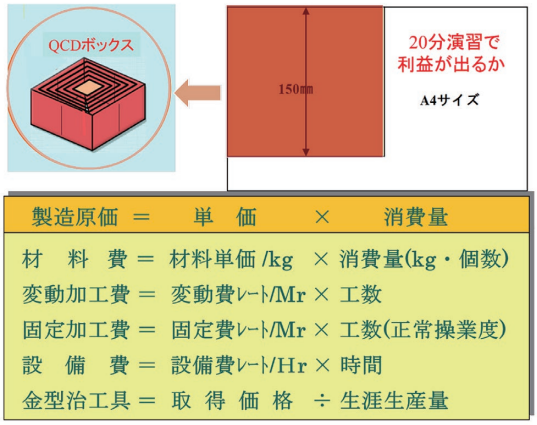
参加料(税込)
法人会員：118,800円/1名
会 員 外：130,130円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

本セミナーのねらい

お金の計算は経理に任せておけばよいと考える技術者、会社の売上や利益に関心のない技術者は経営目的に合う技術者ではありません。反対に技術に関心のない経理も同じです。

本講座は自らの技術をお金で見ることをねらいとしています。



参加者の声

- 実例を挙げながら進めていただけたことや、じっくり進めていただけたことで、実務に活かすことをイメージしながら受講することができました。
- 自社の原価計算になにが足りていないのか、どこから改善していったらよいか理解することができました。
- グループワークを通して普段の業務とは違う視点からの考え方を理解できました。
- 計算結果を活用し実際にコストダウンにつなげられるように勉強を続けていきたいと思います。

■ プログラム

2日間　10：00～17：00　[昼食] 12：00～13：00

1日目

1 原価と利益のしくみ ～基礎的な会計用語を理解する～
(1) お金の計算には3種類ある
(2) 利益はどのように計算されているか　演習 製造原価報告書作成
(3) 費用・原価とは何か
(4) 直接費・間接費とは何か
(5) 変動費・固定費とは何か

2 製品別の原価を計算してみる
～材料費と加工費を計算する～
(1) 事後の(実際)原価と事前の(標準・見積)原価
(2) 材料費の計算のやり方　演習 見積原価計算　演習 材料費計算
(3) 加工費レート計算のやり方
(4) 加工費の計算のやり方

3 QCDボックス 演習
～利益を生み出すしくみを学ぶ～
(1) 実習 オリエンテーション　演習 製品別原価と利益の計算
(2) QCDボックス演習　演習 決算書の作成
(3) 標準原価のDBと標準原価計算

2日目

4 標準品の原価計算と管理
～原価企画と標準原価管理によるCD～
(1) 2つ原価管理とコストダウン　演習 製品別・部門別原価計算
(2) 原価企画と技術段階のコストダウン
(3) 標準原価管理と製造段階のコストダウン
(4) コストダウン効果を測定する　演習 コストダウン成果計算

5 個別受注の原価計算と管理
～フロントローディングの実践～
(1) 個別受注生産の受注プロセス
(2) コストテーブルの作成手順
(3) 時間テーブルの作成手順　演習 標準時間資料の作成
(4) 工事・組立のコストダウン

6 原価計算結果を経営に役立てる
～損益分岐点と限界利益で意思決定～
(1) 原価見積から価格見積へ　演習 売価決定問題
(2) 損益分岐点の原理　演習 損益分岐点を計算してみる
(3) 利益を増やす5つの方法がある　演習 損益分岐点向上策
(4) 限界利益を使った意思決定　演習 意思決定問題

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

申込・セミナー詳細は　JMA150834　検索